



【 井波のすばらしさが子供を育てる 】

○ 今、私は必要があって、「我が校の取組」という題名で、原稿を書いています。「ふるさと教育」を中心に書いているため、この機会に、子供たちが地域との関わりのある学習を行っていることについて振り返っています。同時に、井波彫刻や祭り等、井波のことについても調べており、歴史と伝統のある井波のすばらしさをさらに感じ取っている次第です。

○ 一つ目は、「**井波彫刻にまつわる施設等の見学や調査活動**」です。2年生や3年生は、瑞泉寺

や八日町通り方面に見学や調査活動をしに行っています。そのとき、観光ボランティア「井波の風」の方や、保護者ボランティアの方の協力を得ています。以前、私も砺波市や富山市の学校で勤務していたとき、富山県の伝統産業の学習で井波に見学に来たことがあります。そのとき、瑞泉寺や八日町通りのすばらしさを感じたものでした。



○ 二つ目は、「**井波の祭りや踊りの継承**」です。

4年生は、昨年からコロナ過で中止となっている「よいやさ祭り」について、神主さんや祭りの総代の方から、祭りの歴史や神輿の担ぎ方等の話を聴きました。子供たちは祭りがなんとか続くようお守りを作ったり、祭りをPRするポスターを描いたりして、地域に広めようとしています。6年生は、3学期に「木遣り踊り」の指導を受ける予定です。



○ 三つ目は、「**栽培や伝統工芸品の技術の伝授**」です。3年生は、井波の特産物「里芋」づくりについて、里芋を栽培しておられる家を訪れて、里芋を植える、掘る、選別するなどの作業を体験させていただいています。また、6年生は、卒業制作で木彫刻作品をつくり、そのときに彫刻師さんを招いて木彫りの指導を受ける予定です。



○ まだまだすばらしいことや、伝えたいことがたくさんあります。地域の指導者の中には、以前に

私が井波小学校に勤務していたときの保護者の方もおられます。時を越えて再びお世話になることに感慨深い気持ちです。多くの地域の方々、本当にありがとうございます。子供たちは幸せです。